

本だいすき！



玉島小学校
図書室
令和元年・5月

風薫る5月、木々の新しい葉っぱ（若葉）があざやかです。5月（さつき）は皐月とも書きます。苗代で育てた早苗を田に植える時期なので、早苗月とっていたものが、略されて「さつき」になったと言われています。5月は、こどもの日、母の日、運動会、楽しい行事がつづきます。

新元号 令和スタート！！ 令和・・・日本の古典（古い文献）である『万葉集』“梅花の歌”の一節から「令和」が決められたそうです。現存する日本最古の歌集で、約4500首の歌が収録されています。

一万葉集「梅花の歌」
初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す。
一万葉集入門より引用



ここで令和の「令」という文字の由来を紹介합니다。由来元の万葉集「梅花の歌」の歌の中に「初春の令月」という言葉があります。



「令月」とは…

【意味】何事をするにもよい月。めでたい月。新元号にぴったりの、おめでたい言葉なのです！

新元号「令和」ですが、「令」という文字が使われるのは、今回が初めて！これまでの日本の元号は、すべて中国の古典からの由来でした。しかし今回の「令和」は、初めての日本の古典が由来となりました。首相によると「日本の四季折々の文化と自然を、これからの世代にも引き継いでいきたい」という思いで、万葉集から引用しているとのこと。

ちなみに「和」という漢字が元号に使用されたのは、過去に20回もあります！わたしが思いつくだけでも「昭和」「享和」などがあります。「令和」は、日本最初の元号「大化」から248番目にあたります。

新元号クイズ 年なまえ（ ）

①	新元号は何？	
②	元号に「令」が使われるのは何回目？	回目
③	元号に「和」が使われるのは何回目？	回目
④	令和は日本最初の元号から何番目？	番目
⑤	日本最初の元号は何？	



わかった人は、答えを書いて図書室まで♪全問正解した人にはプレゼントがあるよ♪

かだいとしょ き
課題図書が決まりました！！

がくねん 学年の本 4冊すべてをかりて読んだ人には
くーぼん クーポンを1まいプレゼント！！
としょしつ 図書室にあるので、かりにきてね♪



【1・2年生】



まじよ
魔女の のろいアメ / 草野 あきこ

まじよ う わるぐち
魔女が売っていたのは、悪口を10こいいながらつくる「のろい
あめ さき だい おも わるぐち い
アメ」。サキが、大きらいなおねえちゃんを思いうかべて悪口を言
うと……。



かせいじん
スタンリーとちいさな火星 / サイエン・ジェームズ

しごと しゅっちょう ひ
かあさんが仕事で出張にでかけた日、スタンリーは火星へと
と 飛び立ちました。すると、入れかわりにやってきたのは、
すたんりー に ちい かせいじん ははおや ひ ふうそう
スタンリーによく似た小さな火星。母親がいない日を、空想の
ちから す おとこ こ
力でなんとかやり過ごそうとする男の子と、それをやさしく
みまも かぞく すがた か えほん
見守る家族の姿が、あたたかく描かれている絵本です。



心ってどこにあるのでしょうか？ / こんの ひとみ

こころ す ひと まえ あか
心ってどこにある？ 好きな人の前で赤くなるからほっぺ？
どきどき ころも いた
ドキドキするから胸？ いやなことがあると痛くなるから、おなか
いぬ こころ なみだ
かな。犬の心はしっぽにあるかもしれない。いろんな涙がある
から目にあるのかも…。 あたた え ぶん おく こころ
温かい絵と文で贈る“心えほん”。



もぐらはすごい / アヤ井 アキコ

つち なか あ め みみ おどろ た
土の中のくらしに合った目や耳、驚きの食べっぷりなど、「も
ぐらってすごい！」という感動を、ユーモアのある絵と文で紹介。

【3・4年生】



かみさまにあいたい／当原 珠樹

大好きだったおばあちゃんに、うそをついたまま永遠の別れを
迎えてしまった雄一。ひよんなことから、同級生の竜也といっし
よに、「神さま」との交信を試みるが……。



子ぶたのトリュフ／ヘレン・ピーターズ

お母さんぶたのおっぱいもすえなかった赤ちゃんぶたは、ジャ
スミンのけんめいな世話で命をとりとめる。そしてあらしの夜、
かしこい子ぶたに成長したトリュフは、行方不明になった
モルモットを、においをたよりに追いかける。



そうだったのか！しゅんかん図鑑／伊知地 国夫

肉眼で見えない瞬間を切り「撮った」写真絵本
ふだん何気なく見ているものを、その瞬間でストップ！



季節のごちそうハチごはん／横塚 眞己人

ハチを食べると聞くとおどろくかもしれませんが、むかしから、
日本各地や世界中で、虫は食べられてきました。日本の一部の地域
では、今も、季節のごちそうとして虫を食べているのです。いつ
たい、どんなふうに虫を食べているのでしょうか。

【5・6年生】



ぼくとニケ／片川 優子

5年生で突然登校拒否になった幼なじみの仁菜が、薄汚れた子猫を拾い、ぼくの家へ連れてきました。自分の家で飼えない仁菜にかわって、ぼくと家族が世話をすることになったのだけれど……。子猫のニケに関わる中で数々のことを学んでいく、ぼくの様子がいねいに紡がれます。15歳で講談社児童文学新人賞佳作を受賞し鮮烈デビューした獣医師が描く、大切なお話です。



かべのむこうになにがある?／ブリッタ・テッケントラップ

大きな赤いかべがありました。いつからなのか、どうしてなのかだれもしりません。ねずみはかべのむこうが知りたくて鳥にたずねると…。



マンザナの風にのせて／ロイス・セパバーン

1942年、アメリカ。日系アメリカ人のマナミは、ワシントン州ベインブリッジ島で、家族と幸せに暮らしていた。いつものように学校へ通い、友達と遊ぶ日々は、ある日突然変わってしまった。家族で「強制立ち退き」しなければならなくなったのだという。愛犬トモとも別れて、住みなれた土地をはなれなければいけなくなった…。



もうひとつの屋久島から／武田 剛

1993年、日本で初めて世界遺産に登録された屋久島。この自然豊かな島のいたる所で、その11年前まで広大な原生林が伐採されていた事実があった!屋久島の過去・現在・未来にせまる、ドキュメンタリー。